

## C-ENGINE主催

### 博士人材のためのキャリアパスを考える土曜セミナー

### ～博士人材×イノベーションマインド=無限の革新～

産学協働イノベーション育成協議会(C-ENGINE)では、博士号取得者が産業界でのキャリアパス開発を目指して大学院生やポスドクの研究インターンシップ事業を進めています。その一環として、博士号取得後のキャリアパスに不安をお持ちの方対象に、土曜セミナーを開催します。本セミナーでは、近年注目されている英国 Vitaeの研究者職能開発を参照して作られた、大学、企業を問わず、研究者として社会で活躍するために身につけることが望ましいトランスファラブルスキルRISEと、企業での研究開発におけるイノベーションの理解を深めることを目的にしています。本セミナーでは、今現在の自らの研究スキルを正しく把握することで学位取得後の進路の見えない不安を解消する道標を提供します。研究インターンシップや民間企業への就職についての個別相談も可能ですので、是非お気軽にご参加ください。

【参加費】 無料

【場所】 Zoom開催

【定員】 約30名(要事前申込)

【講師】 TIM コンサルティング 古田 健二 先生

【日時】 第1回: 2020年11月28日(土) 13:30～15:30

第2回: 2020年12月5日(土) 13:30～15:30

第3回: 2020年12月12日(土) 13:30～15:30

(各回、内容は異なります)



【申込方法】件名を「土曜セミナー申込」とし、所属、学年、氏名、メールアドレスに加え、参加希望日を記載の上、下記へメールしてください。

E-mail: [contact@c-engine.org](mailto:contact@c-engine.org)

ミーティングIDは開催日の5日前を目途にリマインダーと共に送り致します。

	学習目標	講義内容
第1回 11月28日 (土)	変化する企業を取り巻く環境と対応する研究開発活動のあり方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変化するグローバルな経営環境</li> <li>・ 低迷する日本企業の状況</li> <li>・ 日本企業再生の方向性とイノベーション</li> <li>・ イノベーションとインベンション</li> <li>・ 技術に対する学と産の違い</li> </ul>
第2回 12月5日 (土)	正しいイノベーションの理解と企業における研究開発活動のあり方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イノベーションとテクノロジーマネジメント</li> <li>・ テクノロジーマネジメントの進化</li> <li>・ 市場ベースの発想の重要性</li> <li>・ 研究開発活動におけるマーケティング活動</li> <li>・ オープンイノベーションの意味と重要性</li> </ul>
第3回 12月12日 (土)	変化する環境に対応する人材像と就職活動について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変化する求められる人材像</li> <li>・ 企業における人材マネジメント</li> <li>・ 博士人材の就職活動における留意点</li> <li>・ インターンシップの有効性</li> </ul>

#### 【講師略歴】 古田 健二 先生

1973年 東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了 株式会社日立製作所入社

1980年 米国スタンフォード大学大学院においてDegree of Engineer取得

1985年 アーサー・D・リトル（ジャパン）株式会社入社

1995年 SRIインターナショナル日本支社入社

1996年 株式会社SRIコンサルティング初代表取締役就任

1999年 SRIインターナショナル日本支社代表兼任

2000年 株式会社フュージョンアンドイノベーション代表取締役初代社長就任

2008年 東京工業大学プロダクティブリーダー養成機構特任教授就任

ビジネス・ブレイクスルー大学大学院客員教授就任

2013年 東京工業大学イノベーション人材養成機構/グローバルリーダー教育院特任教授就任

2019年 東京工業大学特任教授退任



開発技術者時代および経営コンサルタント時代を通じ、一貫して「経営と技術の融合」を基本的な活動テーマとして活躍中。関西生産性本部のマネジメントスクールにおいてR&Dマネジメントおよび新規事業マネジメント関連講座の講師、コーディネーターなどをつとめるのと併行して、個別企業の研究開発活動に関する研修などを受託。代表的著書に『第5世代のテクノロジーマネジメント』がある。